

- 問1 武士に関わる法律の歴史について、鎌倉時代に北条泰時が制定した「御成敗式目」、江戸時代に幕府が大名を統制するために制定した「武家諸法度」、そして戦国時代に各大名が領国支配のために制定した法律を順に並べたものとして適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1. 武家諸法度 - 分国法 - 御成敗式目 | 2. 分国法 - 御成敗式目 - 武家諸法度 | 3. 御成敗式目 - 分国法 - 武家諸法度 | 4. 御成敗式目 - 武家諸法度 - 分国法 |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
- 問2 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある下の者が上の者を倒し、その地位を奪い取るという社会的な風潮を何と呼びますか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 惣村 | 2. 下剋上 | 3. 下請け | 4. 寄合 |
|-------|--------|--------|-------|
- 問3 日本の歴史において、守護・地頭の設置や御成敗式目の制定が行われた時代（鎌倉時代）の様子を説明した記述として、ふさわしくないものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 実力のある下の者が上の者を倒して地位を奪う、下剋上の風潮が広がった。 | 2. 将軍と御家人が、土地を媒介とした御恩と奉公の主従関係を結んだ。 | 3. 元軍の侵攻に対し、九州の御家人たちが防戦にあたった。 | 4. 北条氏が執権の職に就き、幕府の政治を動かした。 |
|---------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|----------------------------|
- 問4 ポルトガルがバスコ・ダ・ガマを派遣し、アフリカ南端を経由するインドへの新航路を開拓させた主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 当時中国を支配していた元との貿易を拡大し、絹織物や陶磁器を大量に輸入するため。 | 2. イスラム商人やイタリア諸都市に仲介料を奪われず、高価な香辛料を直接入手するため。 | 3. 北アメリカ大陸にあると信じられていた黄金の国「ジパング」を探索するため。 | 4. 地動説を証明するために、西回りで航海して地球を一周することが目的であったため。 |
|--|---|---|--|
- 問5 室町時代後半から戦国時代にかけて見られた、身分や立場が下の者が、実力によって上の者に打ち勝ち、その地位を奪う社会的な風潮を何といいますか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|----------|---------|
| 1. 尊王攘夷 | 2. 下剋上 | 3. 御成敗式目 | 4. 一向一揆 |
|---------|--------|----------|---------|
- 問6 石見銀山から産出された銀は、16世紀後半から17世紀初めにかけて世界の銀産出量の約3分の1を占めていたとも言われています。この銀山で生産を支え、日本の銀が国際社会へ大きな影響を与える要因となった技術的背景として正しいものを選んでください。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 明治維新以降、フランスの技術を取り入れた官営模範工場として整備されたこと | 2. 足尾銅山鉱毒事件を教訓にした、公害を出さない最新の濾過技術が開発されたこと | 3. たたら吹きという、鉄を精錬するための日本独自の製鉄法が応用されたこと | 4. 灰吹法という、鉛を用いて銀を抽出する高度な精錬技術が導入されたこと |
|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問7 15世紀後半、ポルトガルの支援を受けたバスコ・ダ・ガマが、リスボンを出発してアフリカ大陸南端の喜望峰を経由し、到達に成功した地域はどこですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|----------|----------|
| 1. 中国 | 2. インド | 3. カリブ諸島 | 4. 北アメリカ |
|-------|--------|----------|----------|
- 問8 1549年にフランシスコ・ザビエルが日本に上陸し、キリスト教を伝えた背景には、当時のヨーロッパにおける宗教情勢が深く関わっています。キリスト教が日本に伝えられるに至った直接的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。 | 2. 十字軍の遠征が失敗に終わったことで、キリスト教徒がイスラム教勢力に対抗するための同盟国を東アジアに求めた。 | 3. ルターが自身の教えを世界に広めるために組織を設立し、その活動の一環として日本が最初の布教先に選ばれた。 | 4. ルネサンスの進展によって人間中心の考え方が広まった結果、宗教の枠組みを超えた世界規模の文化交流が推奨された。 |
|---|--|--|---|
- 問9 室町時代に足利義満が開始した、大陸との外交や貿易の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. イエズス会の宣教師であるフランシスコ・ザビエルの布教を保護する条件として、ポルトガル船との間で南蛮貿易を開始した。 | 2. 博多湾を襲撃した元軍を退けた後、元の優れた文化を導入するために、北条氏が中心となって大陸との官民一体の貿易を推進した。 | 3. 明の皇帝から「日本国王」として認められた義満は、倭寇と正式な貿易船を区別するために「勘合」という札を用いる日明貿易を行った。 | 4. 幕府が発行した「朱印状」を携えた船が、東南アジアの諸港へ向かい、香料や絹織物などを取引する自由貿易を行った。 |
|--|--|---|---|
- 問10 16世紀半ば、フランシスコ・ザビエルらイエズス会の宣教師が日本を含むアジアなど世界各地へ布教に赴いた歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとしたため | 2. 産業革命によって生産された工業製品を販売する市場を求めていたため | 3. マルコ・ポーロが『世界の記述（東方見聞録）』で日本を黄金の国と紹介したため | 4. 十字軍の遠征が失敗し、キリスト教徒が住む場所をアジアに求めたため |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問11 武田信玄が定めた法の中に、「喧嘩をした者は、いかなる理由によるものであっても、双方ともに処罰する」という、いわゆる『喧嘩両成敗』の規定が見られる。戦国大名がこのような厳しい規定を設けた主な目的として、最も適切なものはどれか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 家臣同士が私的な武力行使をすることを禁じ、大名の裁判権を確立して領国内の紛争を鎮めるため。 | 2. キリスト教の博愛の精神を取り入れることで、家臣同士の平穏な共同体をつくるため。 | 3. 朝廷から与えられた守護としての権限を、隣国の領主に対しても示すことで領土を拡大するため。 | 4. 農村における生産性を向上させるために、武士が農業に専念できる環境を整えるため。 |
|--|--|---|--|
- 問12 戦国大名が定めた独自の法律の中には、「喧嘩（けんか）両成敗」のように、家臣同士の私的な争いを厳しく禁じる規定が多く見られます。このような厳しい法を大名が制定した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. 室町幕府が定めた全国一律の裁判基準を、各地の家臣に徹底させるため | 2. 天皇から授けられた裁判権を行使して、公家社会の秩序を維持するため | 3. 家臣同士の私的な紛争を抑え、領国内の団結と大名による統治権を強めるため | 4. 家臣たちの実力を認め、それぞれの領地での自由な行動を促すため |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
- 問13 ヨーロッパからアジアへ向かう海上航路において、アフリカ大陸の南端に位置し、中継地点として重要な役割を果たした場所の名称として正しいものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|-----------|
| 1. スエズ運河 | 2. 喜望峰 | 3. パナマ運河 | 4. マゼラン海峡 |
|----------|--------|----------|-----------|